

東北大学とアルプス電気が「組織的連携協力協定」を締結

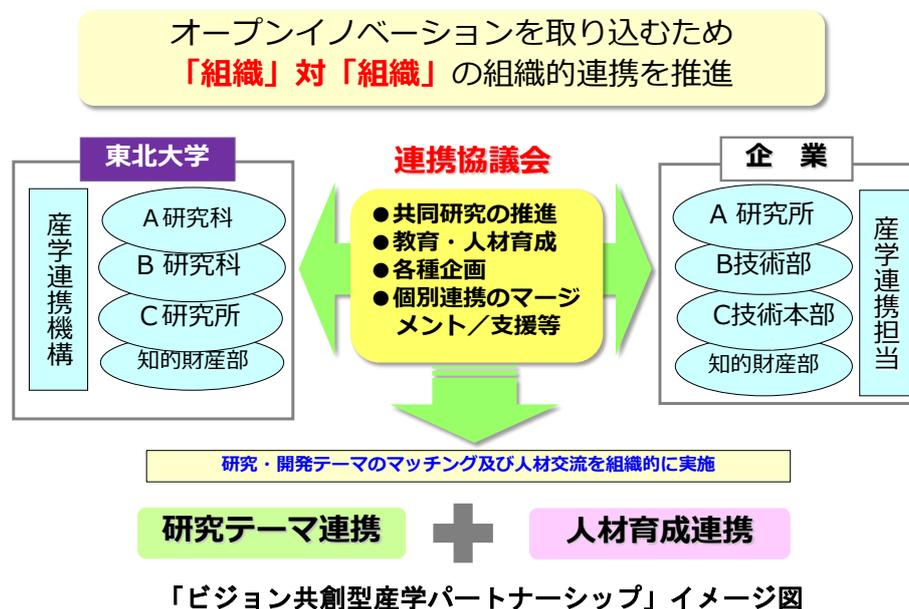
— 電子部品産業の振興と社会全体の発展への寄与を目指して —

平成 29 年 4 月 5 日
国立大学法人東北大学
アルプス電気株式会社

国立大学法人東北大学（所在地：宮城県仙台市、総長：里見 進（さとみ すずむ）、以下「東北大学」）とアルプス電気株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：栗山 年弘（くりやま としひろ）以下「アルプス電気」）は、産学連携による研究開発、および人材育成を図っていくことで、相互協力が可能な分野における、持続的かつ組織的な連携協力に向けて、平成 29 年 3 月 28 日（火）に調印・締結いたしました。

現在、長引く経済の停滞、人口減少、人口減少に伴う地域の疲弊等、我が国が直面する大きな課題を解決する上で、より大学の役割、貢献、期待が高まりつつあり、産業界および大学に対する産学連携の抜本的な強化を求める声が急速に高まっております。

これらを背景に東北大学では、新たな産学連携モデル「ビジョン共創型産学パートナーシップ」（以下「パートナーシップ」）を平成 29 年 3 月より開始しており、本パートナーシップでは、従来実施してきた共同研究に加え、大学・企業の双方で「ビジョン」を共創・共有し、共同研究や人材育成を図りながら、ビジョンの実現を目指します。また、ビジョンを実現することで、震災復興・地方創生・新産業創出など、社会実装・貢献につなげていきます。



以上を踏まえ、この度、本パートナーシップの初めての取り組みとして、東北大学とアルプス電気が「組織」対「組織」における連携協力を締結しました。本協定は、新たな競争力による先端技術新事業の創出を目指すとともに、人材面においては震災復興・地方創生など地域産業の持続的成長促進に向けたイノベーションを担う創業人材の育成を図っていくことで、電子部品産業の振興と社会全体への発展に寄与することを目的としています。

具体的には、連携協議会を設置し、①共同研究の推進、②研究者の研究交流を含む相互交流、③研究施設、設備等の相互利用、④教育・人材育成の推進および相互支援、⑤社会イノベーションラボ（仮称）の設置の検討などに関する連携に取り組みます。

また、これら活動においては、東北大学の総合大学としての強みとアルプス電気の電子部品メーカーとしての総合力を活かし、広範な学内研究者と事業活動している社員による多分野人材交流により推進をしていきます。さらに、本連携協定を強力に推進していくために、東北大学キャンパス内に「アルプス電気－東北大・オープンイノベーションラボ（仮称）」を設立いたします。

なお、本協定の連携は2017年3月28日から開始し、連携協議会（連携責任者、連携研究推進代表者、連携遂行に必要とされるメンバー）の設置により、本協定を遂行していきます。



（左 栗山社長、右 里見総長）

（本件にかかるお問い合わせ先）

国立大学法人東北大学
産学連携機構 総合連携推進部
山田 智子
電話番号 022-217-6034
E-mail : liaison@rpip.tohoku.ac.jp

アルプス電気株式会社
広報・IRグループ
十河 隆、武田 安弘
電話番号 03-5499-8001
E-mail : yasuhito.takeda@jp.alps.com

以上